



動画は
コチラ

五穀豊穰など願う伝統行事「山の神」



顔に墨を塗って集落を練り歩く子どもたち
香美町香住区沖浦

顔に墨塗り練り歩き

男子小中学生17人参加

香美

香美町香住区沖浦で8日、五穀豊穰と地区の安泰を願う伝統行事「山の神」があり、顔に墨を塗りたくった小中学生の男の子17人が集落の外れの祠まで練り歩いた。

室町時代から伝わるとされ、毎年、正月三が日が明けた最初の日曜日に執り行う。山の神は女性で、容姿端麗な人を見ると嫉妬するといひ、男の子が墨で顔を汚して参加する。

子どもたちは額に「山の神」と書いて、眉毛や頬、マスクまで顔中墨だらけに。御幣やわらじ、しめ縄などの供物を持って公

民館を出発し、「山の神のお祭り」は大きなお祭りで大びつに一杯、小びつに一杯、あーらめでたや、後の御福は頼んだ」と唱えながら、県道沿いの祠まで歩いた。

山の神は食事する姿を見られたくないといひ、お供えした後は祠を振り返らずに集落まで戻るのが決まり。柴山小5年の川本爽斗君(10)は「みんな顔に墨を塗って、仮面みたいだった」と話した。(長谷部崇)



但馬総局の公式
Instagram
でも

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

①「山の神」はいつから伝わり、何を願う伝統行事ですか。空欄を埋めましょう

時代から伝わりとされる。
を願う伝統行事

②なぜ、男の子の顔に墨を塗りたいくるのですか

③お供えした後、祠（ほこら）を振り返らずに集落まで戻るのなぜですか

④あなたの住んでいるまちの伝統行事には、どんなものがありますか